

令和4年度第2回銚田市男女共同参画推進委員会協議結果まとめ

内 容

1 開会

2 委員長挨拶

3 協議事項

(1) 第4次銚田市男女共同参画計画策定に係るアンケート分析結果について

→事務局案のとおり承認。

※意見については、別紙のとおり。

(2) 第3次銚田市男女共同参画計画の評価と今後の課題について

→事務局案のとおり承認。

※意見については、別紙のとおり。

(3) 第4回パパ・ママ感謝の日特別企画フォトコンテスト審査について

→広報ほこた・市HPにて公表予定。

(4) その他

→男女共同参画講演会（中学2年生向け）について、事務局から案内。

4 閉会

(1) 第4次銚田市男女共同参画計画策定に係るアンケート分析結果について

委員からの主な意見

- ・最近では男性からのDV相談も増えてきている。今後は市でこういった相談窓口を設置していくか等も考慮しながら、第4次計画策定を進めていただきたい。
- ・女性が働き続けるためには、事業所と保育とのタイアップも重要となってくるため、そういった部分も取り入れていただきたい。

→関係課とも連携し、相談窓口の周知方法等を工夫して取り組んでいけるよう、第4次計画策定を進めていく。

(2) 第3次銚田市男女共同参画計画の評価と今後の課題について

- ・主要施策の取り組み状況については、全体的に概ね順調との印象を受けた。市民意識調査の結果を見ると、あまり成果を感じられていないといった部分も見受けられるため、取り組みは順調だが結果が出ていないという理解で合っているか。

→施策を進めてはいたものの、結果にはつながらなかったと考えている。第3次計画での主要施策数は110だが、第4次計画では施策を精査し、庁内ワーキングチームの中でも調整しながら策定を進めていく。

- ・職場環境では制度等が順調に進み働きやすいが、家庭内の家事分担面では未だに順調に進んでいないと感じる。未だに女性だけが家事をしている家庭が多いため、男性の家庭への働きかけが進むような施策を第4次計画には取り入れていただきたい。
- ・職場と家庭は切り離せない。日本の男性は残業しすぎているため、その残業している分が女性の家庭内での負担となってしまう。さらに職場では、父親が子供の病院のために休もうとすると、「あの家の母親は何をしているのか、母親は休めないのか」といった理解の無い言葉が飛び交っているのが現状である。他地域と比べても、銚田市ではそういった考えの方たちが多いと感じている。
- ・男性にとっては、30代からが働くのに良い時期となってくるため、その年代の頃に子どもがいても家に帰れないことが多いのが現状である。「早く帰りたい、休みたい」と思っているも、お金を稼がなければ生活が苦しくなるため、働かなければならない状況となり、仕事はどうしても入ってきてしまう。女性の労働率も上がってきており、働く女性が仕事と家事を両立しなければならない状況となり、DVも出てきてしまっているのではないかな。これからは、若い世代が働くリーダーにならなければならず、事業所としても非常に難しい時代になってきていると感じる。

→アンケート結果を年齢別で見ると、若い世代の方たちは夫婦一緒に育児を協力して行っていることが分かる。ただ、「仕事と子育ての両立」に関する部分を見ると、銚田市には慣習やしきたりが未だに多く残っているといった結果が出ており、課題である。年代別での意識の差についても分析した上で、現在置かれている難しい状況への対応策も含め、各年代へのアプ

ローチの仕方などを考えていく。

- ・ 銚田市の基幹産業は農業である。国は働き方改革を推進しているが、農業では特に長時間労働となってしまうため、現在の日本の働き方を根本的に変えなければならない。農業就業者に関しては別のデータも出てくるため、そういったデータも取り入れながら、銚田市独自の施策も考えてみてはどうか。
 - ・ 女性の団体の中には、予算の関係でイベントの活動ができていないといった団体もある。そういった団体には補助金を出すなど、女性が活動している部分に対しての支援を手厚くすることで、女性のリーダーシップ促進にもつながっていくのではないかな。
- 銚田市の基幹産業が農業であるという部分も意識しながら、第4次計画策定を進めていく。厳密な男女平等や男女共同というよりも、男女がお互いに納得し合った形で役割分担できるかどうか重要となってくるため、そういった部分も考慮しながら策定を進めていく。女性の団体へのヒアリングも実施予定のため、そういった団体のご意見も取り入れながら策定を進めていく。